

‘98 ジムカーナグランプリ 第1戦・沖縄 GP 開催レポート

沖縄といえば！青い空、白い雲、エメラルドグリーン的大海、……。

あの「ジムカーナグランプリ」がとうとう沖縄までやってきた～。沖縄の澄みわたる青空の下、気温はじりじりうなぎ登り、熱い暑いバイクと私、「う～んもうどうにでもして」。

ところがどっこい大会当日は小雨のパラつくあいにくのお天気。沖縄の空をも曇らせる超強力雨女、それは私!?ごめんなさあ～～い。

それはさておき、沖縄 GP には、はるばる関東、関西、中部、中国、四国など全国から参加者が集まりました。それは何故かとたずねたら「べんべん！」沖縄にいるジムカーナ仲間に出会った～い、ソーキそばを食べた～い、観光した～い、等々。そしてどうせ沖縄を走るなら自分のバイクで…と思うのが人情。とは言うものの、なかなか実現は難しいもの。海を渡ってきたバイクは大阪からの『GSF1200』一台だけでした。「よしよし、エライよ」

他の遠征組はレンタル車輛を駆り、ここぞとばかり各々の走りを沖縄で大披露。「私の走りを見て～ん。」勿論、地元ライダーも負けてはいませんぞー。なんと沖縄のアスファルトは特殊で、全国屈指!?の超スリッピーな路面なのです。その上朝からの雨のためウェットコンディション!!遠征組が更にグリップしない路面に苦労している中、地元組は涼しい顔で口笛吹いて(ちょっと嘘)、果てしなくアクセルを開け続けるのでした…。

さてさて、今回のコースの目玉として、「屋根の下コース」が設けられました。これは「あんちゃん」が走るのじゃあなくて、コースの一部が建物の下を走るように作られていて、薄暗～い所を走らなければなりません。いつもの通り、一つ一つセクションをこなしていくといきなり、エottonネルの中!?と言う感じをついアクセルを戻してしまいそうになるの。でもそこをグッと我慢して、自分の思い描いていたラインを走らなくっちゃ!だって女の子だもん。

最後にまあみなさん聞いて下さい。今回、参加者の中になんと！小学校に上がる前のお子さまライダーがいたのだ!!!しかも二人も!!!車輛はQR50とCR80。みんながドキドキ心配だったコースミスもほとんどなく(近頃の子供は賢いねえ)、フリーターンではアクセルターン (!!)を試みたりなんかして、立派なジムカーナライダーとしてリザルトに名を残してくれました。これからも、このようなお子ちゃまライダーがどんどん増えてくるでしょう。そして子供の才能ってやつは恐ろしいからすぐにトップ争いをするようになるのでしょねえ。私達も若いもんには負けてはいられません!!さあ練習練習!そして来年はキッズライダーを蹴散らしに(蹴散らされに?)沖縄に行こう!みんなで行こう!青い空が呼んでるぜ。